

# 向陽祭アプリ利用規約

2024 年 5 月 21 日制定

この利用規約（以下、「本規約」といいます。）は、名古屋市立向陽高等学校学校祭アプリ制作委員会（以下、「当団体」といいます。）が本アプリ上で提供するサービス（以下、「本サービス」といいます。）の利用条件を定めるものです。ユーザーの皆さま（以下、「ユーザー」といいます。）には、本規約に従って、本サービスをご利用いただきます。

## 第 1 条（適用）

本規約は、ユーザーと当団体との間の本サービスの利用に関わる一切の関係に適用されるものとします。

当団体は本サービスに関し、本規約のほか、ご利用にあたってのルール等、各種の定め（以下、「個別規定」といいます。）をすることがあります。これら個別規定はその名称のいかんに関わらず、本規約の一部を構成するものとします。本規約の規定が前条の個別規定の規定と矛盾する場合には、個別規定において特段の定めなき限り、個別規定の規定が優先されるものとします。

## 第 2 条（利用登録）

皆様は本サービスにおいてはインストール、利用その他のアクセスをすることで、本規約に同意したものとみなされます。

## 第 3 条（禁止事項）

ユーザーは、本サービスの利用にあたり、以下の行為をしてはなりません。当団体において、利用者が禁止事項に違反したと認められた場合、利用の一時停止、退会処分その他当団体が必要と判断した措置をとることができます。

法令または公序良俗に違反する行為

犯罪行為に関連する行為

本サービスの内容等、本サービスに含まれる著作権、商標権ほか知的財産権を侵害する行為

当団体、ほかのユーザー、またはその他第三者のサーバーまたはネットワークの機能を破壊したり、妨害したりする行為

本サービスによって得られた情報を商業的に利用する行為

当団体のサービスの運営を妨害するおそれのある行為

不正アクセスをし、またはこれを試みる行為

他のユーザーに関する個人情報等を収集または蓄積する行為

不正な目的を持って本サービスを利用する行為

本サービスの他のユーザーまたはその他の第三者に不利益、損害、不快感を与える行為

他のユーザーに成りすます行為

当団体が許諾しない本サービス上での宣伝、広告、勧誘、または営業行為

当団体のサービスに関連して、反社会的勢力に対して直接または間接に利益を供与する行為

その他、当団体が不適切と判断する行為

## 第 4 条（本サービスの提供の停止等）

当団体は、以下のいずれかの事由があると判断した場合、ユーザーに事前に通知することなく本サービスの全部または一部の提供を停止または中断することができるものとします。

①. 本サービスにかかるコンピュータシステムの保守点検または更新を行う場合

②. 地震、落雷、火災、停電または天災などの不可抗力により、本サービスの提供が困難となった場合

③. コンピュータまたは通信回線等が事故により停止した場合

④. その他、当団体が本サービスの提供が困難と判断した場合

当団体は、本サービスの提供の停止または中断により、ユーザーまたは第三者が被ったいかなる不利益または損害についても、一切の責任を負わないものとします。

## 第 5 条（退会）

ユーザーは、アカウントの消去およびアプリの消去により、本サービスから退会できるものとします。

## 第 6 条（保証の否認および免責事項）

当団体は、本サービスに事実上または法律上の瑕疵（安全性、信頼性、正確性、完全性、有効性、特定の目的への適合性、セキュリティなどに関する欠陥、エラーやバグ、権利侵害などを含みます。）がないことを明示的にも黙示的にも保証しておりません。

当団体は、本サービスに起因してユーザーに生じたあらゆる損害について一切の責任を負いません。ただし、本サービスに関する当部門とユーザーとの間の契約（本規約を含みます。）が消費者契約法に定める消費者契約となる場合、この免責規定は適用されません。

前項ただし書に定める場合であっても、当団体は、当団体の過失（重過失を除きます。）による債務不履行または不法行為によりユーザーに生じた損害のうち特別な事情から生じた損害（当団体またはユーザーが損害発生につき予見し、または予見し得た場合を含みます。）について一切の責任を負いません。

当団体は、本サービスに関して、ユーザーと他のユーザーまたは第三者との間において生じた取引、連絡または紛争等について一切責任を負いません。

## 第 7 条（サービス内容の変更等）

当団体は、ユーザーに通知することなく、本サービスの内容を変更しまたは本サービスの提供を中止することができるものとし、これによってユーザーに生じた損害について一切の責任を負いません。

## 第 8 条（利用規約の変更）

当団体は、必要と判断した場合には、ユーザーに通知することなくいつでも本規約を変更することができるものとします。なお、本規約の変更後、本サービスの利用を開始した場合には、該ユーザーは変更後の規約に同意したものとみなします。

## 第 9 条（権利義務の譲渡の禁止）

ユーザーは、当部門の書面による事前の承諾なく、利用契約上の地位または本規約に基づく権利もしくは義務を第三者に譲渡し、または担保に供することはできません。